

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	岡山短期大学
設置者名	学校法人原田学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学 共通 科目	学部 等 共通 科目	専門 科目	合計			
	幼児教育学科	夜・通信	0	0	33	33	7		
		夜・通信							
		夜・通信							
		夜・通信							
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページで公表 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/tan_jitumu_s.pdf
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	岡山短期大学
設置者名	学校法人原田学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページで公表 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/harada_rijimeibo2022.pdf
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	内科クリニック院長	令和4年4月1 日から令和8年3 月31日まで	理事長及び理事会 のガバナンス機能 のチェック機能
非常勤	眼科院長	令和4年4月1 日から令和8年3 月31日まで	理事長及び理事会 のガバナンス機能 のチェック機能
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岡山短期大学
設置者名	学校法人原田学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>シラバスは次の作成規則(「学校教育法施行規則第172条2教育研究活動等の状況についての情報の公表」参照)により本学公式ホームページで公開している。シラバスの公表の時期は、新生にオリエンテーション時にCDで配布している。ホームページには新生に配布した後、4月上旬に公表する。</p> <p>【シラバス作成規則】</p> <p>シラバス作成規則は、岡山学院大学及び岡山短期大学の教育方針に従い、各学科の教育課程(カリキュラム)の授業科目のシラバス(教育計画)の作成について定める。シラバスの様式は様式-1のとおりとする。シラバスには年度表示して、使用する学生の入学年度を明確にする。教育課程(カリキュラム)に編成されている授業科目名を記入する。当該授業科目の授業回数と単位数を記入する。授業科目を担当する教員名を記入し、学生からの質問受付の方法としてe-mailアドレス及びオフィスアワーを記入する。e-mailアドレスがない場合は無記入とする。オフィスアワーの記入は、時間設定の代わりに在室時は何時でも可としてもよい。教育目標は教育課程編成・実施の方針及び学生の学習成果について明確に記入する。授業の進め方にある講義・演習・実験・実習・実技は、いずれかを四角で囲う。その際、別紙-1,2の授業形態を参照する。予習・復習は、1単位45時間の計算によって、講義:30時間、演習:15~30時間を課すよう授業時間以外の学習を加えること。テキストの指定は授業内容に相応しいもので、高額にならないものを選択すること。学習成果を明示し、「達成基準」ではなく、学習成果を測定する方法及び評価点の配点が学生に分かるよう記入する。参考図書等を記述し学生が学習しやすくする。1回から15回の授業内容を記入する。学習内容の箇条書きではなく、「何を学び何が出来るようになるか」について教育目標と学習成果の整合性を図って記入する。該当回の授業で何を学習したかを欠席者にも分かるように記入する。定期試験を含まない。</p>	
授業計画書の公表方法	<p>学生への配布とホームページで公表している。</p> <p>https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/04/2022yokyosyllabus.pdf</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>教授会は、理事会で制定された「岡山短期大学幼児教育学科の教育方針」および学習成果を獲得させるために、三つの方針のもとに「学習成果を基にした教育の方法、実践」を行い、卒業認定会議および単位認定会議において GPA 集計表を用いて成績評価など学習の結果について分析を行い学生の学習の状況を共有している。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組については、入学式に学生のしおりを配布し、学則並びに学則施行細則に明記している。また、ホームページでも公表している。</p> <p>教授会は卒業認定会議および単位認定会議において GPA 集計表を用いて成績評価など学習の結果について分析を行い学生の学習の状況を共有している。</p> <p>学科では平成 22 年度から学則施行細則に明確に示すとともに学習成果達成度の測定に GPA 制度を導入した。授業科目の学習評価は、100 点法をもって採点し、80 点以上を優、70 点以上 80 点未満を良、60 点以上 70 点未満を可、60 点未満を不可としているが、それだけでは学生の学習成果を可視化できないので学則施行細則第 7 条(5)に示す通り、成績評価に GP (グレードポイント) を用いて学生の学習成果を目の当たりにできる形にしている。GP は授業評価に対して優を 4、良を 3、可を 2、不可を 1 とし、出席時間数が足りず受験資格なしとなったものを 0 としている。この GP を学期ごとに単位当たり平均 GPA (グレードポイントアベレージ) を算出し総合的な成績評価の判定等も使用している。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>「岡山短期大学則施行細則第 5 章単位修得の認定及び評価について」で公表 (該当ページ: 21 ページ)</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組については、入学式に学生のしおりを配布し、学則並びに学則施行細則に明記している。また、ホームページでも公表している。

卒業認定・学位授与の方針

学位：短期大学士（幼児教育学）

修業年限：2年

総修得単位 62 以上

- イ) 基礎教育科目については、10 単位以上。
- ロ) 専門教育科目については、37 単位以上。

Society 5.0時代の現場に即応する保育者になるため、学科の教育課程（基礎教育科目および専門教育科目）の学習を通して科目の単位を修得し、学則に規定する卒業に必要な単位を修得した者に学位を授与する。

卒業認定の際に獲得していることを求める学習成果は次のとおりである。

Society 5.0時代の現場に即応できる保育者に求められる専門的学習成果と社会人・職業人として求められる汎用的学習成果を獲得している。

卒業の認定に関する 方針の公表方法	岡山短期大学学則並びに学則施行細則、ホームページで公表 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/05/R4oc_172_2-1.pdf
----------------------	--

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	岡山短期大学
設置者名	学校法人原田学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/03zaimu.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/03zaimu.pdf
財産目録	https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/03zaimu.pdf
事業報告書	https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/03zaimu.pdf
監事による監査報告(書)	https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/03zaimu.pdf

2. 事業計画(任意記載事項)

単年度計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	
中長期計画(名称:)	対象年度:)
公表方法:	

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法: ホームページで公表している。 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2021/09/r3tandaitenken.pdf

(2) 認証評価の結果(任意記載事項)

公表方法:

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 幼児教育学科
教育研究上の目的 (公表方法：岡山短期大学学則並びに学則施行細則、ホームページで公表している。) https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/05/R4oc_172_2-1.pdf
(概要) 教育目標 本学は、教育基本法、学校教育法および短期大学設置基準により、高等学校基礎教育の上 に一般の学術文化の研究を行なうとともに、専門教育に重きをおく短期大学教育を施し、 よき社会人として時代の進運に応じ、Society 5.0 で実現する地域社会の指導者たるの人 材を養成し、併せて幼稚園の教員および保育士たる資質を育成するをもって目的とする。 本学科の教育目標 幼児教育施設(幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園)の現場で、幼児教育(環境を 通して行う教育)とは何かを考え、「資質・能力」「幼児期の終わりまでに育ってほしい 姿」を意識し、保育指針の「乳児・1歳以上3歳未満児の保育」を理解し、乳児期の保育 や子どもの育ちをとらえて、幼児期への学びの連続性を考えることができる保育者を養成 する。 保育者養成の教育目標 ①Society 5.0 時代の AI に代表される技術革新の進歩や IoT の広がり、世界のグローバル 化や流動化など、日本社会や世界の状況の 20 年後の将来に対応できる力の基礎を育むこと ができる保育者を養成する。 ②幼児教育において育みたい「資質・能力」の三つの柱「知識及び技能の基礎」・「思考 力、判断力、表現力等の基礎」・「学びに向かう力、人間性等」を育成することのできる 保育者を養成する。 ③幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)「健康な心と体」「自立心」「協同 性」「道徳性・規範意識の芽生え」「社会生活との関わり」「思考力の芽生え」「自然との 関わり・生命尊重」「数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚」「言葉による伝え合 い」「豊かな感性と表現」を育むことに向けて指導ができる保育者を養成する。 ④すべての子どもが安心して過ごせるよう、子どもの気持ちに寄り添い、子どもの生活状 況や実態に合わせて気持ちが前向きになるよう満たすような働きかける養護と幼児教育を 一体的に展開するために、保育の実際を評価し保育を改善し続けることができる保育者を 養成する。 更に、卒業後の目標として、次の、公務員となる公務員養成コース、及び Society 5.0 時 代の保育者となる Society 5.0 保育者養成コースを設ける。 公務員養成コース 基礎教育科目の「公務員講座(A)」「公務員講座(B)」で公務員試験出題科目を集中的に 学習すると共に、「卒業予備研究」「卒業研究(A)」を通して集中的に公務員試験受験の ための社会人基礎力を獲得し公務員試験に合格する。 Society 5.0 保育者養成コース 基礎教育科目の「ソサエティ 5.0 理解」「情報処理基礎」「情報処理演習」「ICT リテラ シー(A)」及び「ICT リテラシー(B)」の学習を通して Society 5.0 時代の保育者に必 要な ICT 技術を修得すると共に、「卒業予備研究」「卒業研究(A)」「卒業研究(B)」

で「模擬保育室」「保育相談実践室」の Society 5.0 化を研究し Society 5.0 時代の保育者になる。

卒業の認定に関する方針（公表方法：岡山短期大学学則並びに学則施行細則、ホームページで公表している。）

https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/05/R4oc_172_2-1.pdf

（概要）

卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組については、入学式に学生のしおりを配布し、学則並びに学則施行細則に明記している。また、ホームページでも公表している。

卒業認定・学位授与の方針

学位：短期大学士（幼児教育学）

修業年限：2年

総修得単位 62 以上

- イ) 基礎教育科目については、10 単位以上。
- ロ) 専門教育科目については、37 単位以上。

Society 5.0 時代の現場に即応する保育者になるため、学科の教育課程（基礎教育科目および専門教育科目）の学習を通して科目の単位を修得し、学則に規定する卒業に必要な単位を修得した者に学位を授与する。

卒業認定の際に獲得していることを求める学習成果は次のとおりである。

Society 5.0 時代の現場に即応できる保育者に求められる専門的学習成果と社会人・職業人として求められる汎用的学習成果を獲得している。

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：岡山短期大学学則並びに学則施行細則、ホームページで公表している。）

https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/05/R4oc_172_2-1.pdf

（概要）

卒業要件として学生が修得すべき単位数について、学生が1 学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を 30 単位とするため、基礎教育科目及び専門教育科目と合わせた単位の上限を 30 単位とし、可能な限り 25 単位に近づけるように科目を開講する。

専門教育科目の編成と実施

幼稚園教諭二種免許状取得に必要な科目と、保育士資格取得に必要なカリキュラムを編成する。

授業の実施は、専門的学習成果のみではなく汎用的学習成果をも獲得できるように実施する。

基礎教育科目の編成と実施

免許法施行規則の第 6 6 条の 6 に定める科目と共に、卒業後、公務員となる公務員養成コース及び Society 5.0 時代の保育者となる Society 5.0 保育者養成コースに必要な授業科目を編成する。

意欲ある学生に対して図書館司書を取得できる科目を編成し、実施する。

入学者の受入れに関する方針（公表方法：岡山短期大学学則並びに学則施行細則、ホームページで公表している。）

https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/05/R4oc_172_2-1.pdf

（概要）

入学者受け入れの方針

本学に入学する人物には、次のような資質・能力を求める。

- ・ 自分のなりたい保育者像が明確である。
- ・ 子どもが好きで、心身ともに健康で、何事にも積極的である。
- ・ 幼稚園教諭免許と保育士資格の両方を取得し、卒業後保育者として働く意志が強い。
- ・ Society 5.0 時代に必要なスキルの修得意識が強い。

- ・ 本学での学習に必要な一定水準の学力を身に付けている。
- ・ 体育や図画工作、音楽が好きで、特にピアノについては、基礎技能を身に付けようと努力できる。

【入試に係る取組・改善状況】

令和4年度よりアドミッション・ポリシーの内容を一部変更した。Society5.0時代に必要なスキルの修得意識が強いという項目を入れた。

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法：岡山短期大学学則並びに学則施行細則、ホームページで公表している。
<https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/06/2022okatangakusoku.pdf>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）							
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	2人	—					人
幼児教育学科	—	4人	2人	6人	人	人	12人
	—	人	人	人	人	人	人
b. 教員数（兼務者）							
学長・副学長		学長・副学長以外の教員					計
0人		13人					13人
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法：ホームページで公表している。 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/05/R4oc_172_2-1.pdf						
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）							

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
幼児教育学科	100人	48人	48%	200人	95人	47.5%	0人	0人
	人	人	%	人	人	%	人	人
合計	100人	48人	48%	200人	95人	47.5%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
幼児教育学科	40人 (100%)	1人 (2.5%)	36人 (90%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	1人 (2.5%)	36人 (90%)	人 (%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

<p>(概要)</p> <p><シラバスや年間の授業の計画の概要></p> <p>【教育課程編成実施の方針】</p> <p>教育課程編成・実施の方針</p> <p>卒業要件として学生が修得すべき単位数について、学生が1学期に履修科目として登録することができる単位数の上限を30単位とするため、基礎教育科目及び専門教育科目と合わせた単位の上限を30単位とし、可能な限り25単位に近づけるように科目を開講する。</p> <p>専門教育科目の編成と実施</p> <p>幼稚園教諭二種免許状取得に必要な科目と、保育士資格取得に必要なカリキュラムを編成する。授業の実施は、専門的学習成果のみではなく汎用的学習成果をも獲得できるように実施する。</p> <p>基礎教育科目の編成と実施</p> <p>免許法施行規則の第66条の6に定める科目と共に、卒業後、公務員となる公務員養成コース及びSociety 5.0時代の保育者となるSociety 5.0保育者養成コースに必要な授業科目を編成する。意欲ある学生に対して図書館司書を取得できる科目を編成し、実施する。</p> <p>【授業科目、授業の方法及び内容】</p> <p>岡山学院大学及び岡山短期大学の教育方針に従い、各学科の教育課程（カリキュラム）の授業科目のシラバス（教育計画）の作成について定める。シラバスの様式は様式-1のとおりとする。シラバスには年度表示して、使用する学生の入学年度を明確にする。教育課程（カリキュラム）に編成されている授業科目名を記入する。当該授業科目の授業回数と単位数を記入する。授業科目を担当する教員名を記入し、学生からの質問受付の方法としてe-mailアドレス及びオフィスアワーを記入する。e-mailアドレスがない場合は無記入とする。オフィスアワーの記入は、時間設定の代わりに在室時は何時でも可としてもよい。教育目標は教育課程編成・実施の方針及び学生の学習成果について明確に記入する。授業の進め方にある講義・演習・実験・実習・実技は、いずれかを四角で囲う。その際、別紙-1, 2の授業形態を参照する。予習・復習は、1単位45時間の計算によって、講義：30時間、演習：15～30時間を課すよう授業時間以外の学習を加えること。テキストの指定は授業内容に相応しいもので、高額にならないものを選択すること。学習成果を明示し、「達成基準」ではなく、学習成果を測定する方法及び評価点の配点が学生に分かるよう記入する。参考図書等を記述し学生が学習しやすくする。1回から15回の授業内容を記入する。学習内容の箇条書きではなく、「何を学び何が出来るようになるか」について教育目標と学習成果の整合性を図って記入する。該当回の授業で何を学習したかを欠席者にも分かるように記入する。定期試験を含まない。</p>

【令和4年度の年間の授業の計画】

学年・学期・休業日

学年 4月1日～翌年3月31日

学期 前期 4月1日～9月10日、後期 9月11日～翌年3月31日

休業日 国民の祝日に関する法律に規定する休日

日曜日

春期休業 3月21日～3月31日

夏期休業 8月1日～9月10日

冬期休業 12月22日～翌年1月7日

前期（4月1日～9月10日）

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で変更となる可能性があります。

4月1日：入学式

2日：授業開始（新入生以外）

4日：履修登録（新入生以外～4/9）

8日：授業開始（新入生）

11日：履修登録（新入生～4/16）

15日：履修登録表学科戻し（新入生以外）

22日：履修登録表学科戻し（新入生）

5月20日：〔幼〕子どもとっしょに運動会

22日：オープンキャンパス

31日：大学開学記念日

6月6日：〔幼Ⅱ〕保育所実習Ⅰ（～6/16）

12日：オープンキャンパス

20日：〔幼Ⅱ〕保育所実習Ⅱ（～6/30）

25日：後援会理事会

7月16日：オープンキャンパス

17日：同窓会総会

24日：オープンキャンパス（二部制）

25日：定期試験（～7/30）

8月6日：オンラインオープンキャンパス

17日：〔幼Ⅱ〕施設実習（～8/26）

21日：オープンキャンパス（二部制）

9月1日：オリエンテーション（各学科）、〔幼Ⅱ〕教育実習（～9/28）

12日：後期授業開始、履修登録（～9/17）

18日：オープンキャンパス

24日：オンラインオープンキャンパス、履修登録学科戻し

後期（9月11日～3月31日）

10月15日：有城祭

27日：短大開学記念日

11月9日：学友会役員選挙

12月2日：〔幼〕子どもとっしょに発表会

21日：授業終了

29日：冬季休業（～1/3まで）

1月10日：授業開始

23日：定期試験（～1/28）

2月11日：オープンキャンパス

3月20日：卒業式

24日：オリエンテーション（在学生）

25日：オープンキャンパス

31日：入学生校医検診・学用品販売

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 岡山短期大学幼児教育学科 卒業認定・学位授与の方針 学位：短期大学士（幼児教育学） 修業年限：2年 総修得単位 62 以上 イ) 基礎教育科目については、10 単位以上。 ロ) 専門教育科目については、37 単位以上。 Society 5.0 時代の現場に即応する保育者になるため、学科の教育課程（基礎教育科目および専門教育科目）の学習を通して科目の単位を修得し、学則に規定する卒業に必要な単位を修得した者に学位を授与する。 卒業認定の際に獲得していることを求める学習成果は次のとおりである。 Society 5.0 時代の現場に即応できる保育者に求められる専門的学習成果と社会人・職業人として求められる汎用的学習成果を獲得している。				
学部名	学科名	卒業に必要な単位数	GPA制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
	幼児教育学科	62 単位	有・無	(1 学期) 30 単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
		単位	有・無	単位
GPAの活用状況 (任意記載事項)		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 (任意記載事項)		公表方法：		

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：公表方法：ホームページで公表
https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/05/R4oc_172_2-1.pdf

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考(任意記載事項)
	幼児教育 学科	620,000 円	190,000 円	207,000 円	施設設備費、教育充実費
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
(概要) メンタルケアやカウンセリング体制については学生相談室がある。本学学生の個人的諸問題について相談に応じ、援助を行うことを目的とするもので、入学式直後のオリエンテーションで概要を毎年告知している。構成員はカウンセラー及び相談員である。利用可能な日時は年度・学期ごとに掲示によって告知し、利用方法に関しては全学生に対して新年度オリエンテーションにおいてカウンセラーが特別に説明している。以上のことは学生のしおりに詳述され、学生はいつでも読むことが出来る。運営に関しては学長とカウンセラー及び相談員が連携をとっている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
(概要) 学科独自のキャリア支援室を設置し、専任教員が就職支援関係(進学・編入学を含む)のキャリア支援を行い、特に保育専門職への就職支援およびボランティア活動・実習、就職に備えて社会人基礎力を養成している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
(概要) 本学では教員の中から任命された生活指導担当教員により生活指導部が構成され、学生の心身ともに健康な生活支援を行っている。また、同様に任命された環境衛生担当教員で構成する環境衛生部は学内の清掃と美化に努め、学内の規律を保つための厚生補導に努める。このことは入学式直後の新入生オリエンテーションや新学期の新2次生へのオリエンテーションでも生活指導部および環境衛生部は学生に対し呼びかけ、注意を促すのが通例である。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページで公表 https://owc.ac.jp/cms/wp-content/uploads/2022/05/R4oc_172_2-1.pdf

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	岡山短期大学
設置者名	学校法人原田学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		19人	19人	20人
内 訳	第Ⅰ区分	13人	11人	
	第Ⅱ区分	-人	-人	
	第Ⅲ区分	-人	-人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				20人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の5割以下 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	0人	人
計	人	0人	人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。